

文芸欄

俳句

投稿一〇〇句
掲載九〇句

紅梅会（東）

本願寺座して祈願の寒の内 美恵子
若根土の駒打ち秘める寒の内 朋子
身心に深く沁み入る寒の水 比佐美
盆梅の見事なまでの出来栄えに 扶喜子
雪景色丹波篠山武家屋敷 早智子
ストーブの赤き炎に睡魔くる 里子
初出社心新たに一步踏み 松子
黙祷にはじまる今日の初句会 恵

梅苑句会（東）

除夜の鐘波動の先に願い込め 山田しづ子
幸あれと念じて聞く初暦 時枝千穂子
餅食めば新年の味やわらかく 藤網孝子

短歌

個人

馳走並べ孤食の日々に偲ぶる少女の頃の楽しき夕餉

（灘）上田 節子

ちらちらとみぞれ粉雪風に舞る山里山茶花ふるえて凍つる

（中）水口 敏子

子や孫を思い浮かべて卵割るミキサーにかけ作る伊達巻

（兵）大賀 清子

古ベッド亡夫介護の日思い馳す断捨離助る男孫たくましき

（北）植田きみ子

掛け替えし色紙の放つ新春の気 深沢 清子

宝愛句らぶ（中）
寒入りのあの震災を忘れまじ 和子

吹雪く夜や明けて光の車窓かな 悦子

年賀状待ちし一枚友の顔 千枝子

風花を手を受け夫を振り返る 道子

風花の乱舞に歓声授業中 丘

枝先の膨らむ兆し四温待つ 和志

六甲を越え風花舞いてわが窓に 哲男

巡り来る三寒四温儼ならず 啓臣

梅の美会（兵）
年毎に手書きの賀状数も減り 平井喜美子

春を待つつぼみ膨らむ吉野山 山口 茂子

移りゆく世に長らえし卒寿の春 藤井 歌子

組板と相性もよく春キヤベツ 山田 朝子

お花見は有馬で桜みあげたし米寿の祝いあい たち仲間

（北）真木香代子
デパ地下の物産展で目が留まり亡夫の故郷の羊羹を買う

友逝きてひっそり光る星が又増えていそうな冷たい夜空

（須）松井寿美江
つまらないこだわり捨てよと我が肩に羽根を休める揚羽蝶

（西）秋山シズエ
若者の居場所づくり知恵を出し練り直しつつ笑顔です

（西）瀬尾省二郎

職終えて四半世紀や春の朝 栗野 富江

新春に心も弾む釣り大会 林 静野

（青葉クラブ）（北）
墨の香に寅の一字賀状かな 馬場みつえ

春待つも氣力が萎える吼える風 山本 恒雄

初詣で箒目すがし村社かな 前川 弘子

高原ささゆり会（北）
目に青く透き通る空年始め 南 久美子

淑氣満つ神橋渡り本殿へ 山下 久一

豆まきの声はずむほど福来たる 松村二三枝

春待つや白一色の窓の外 若林 節子

三才児竹刀上段寒稽古も減り てる子

世の中に抗えよとぞ梅蕾 佐藤伸二郎

箸紙に孫も名を書き祝う膳 佐藤かなめ

（花山会）（北）
丑年の置物納め年惜しむ 林 巳三子

しめ縄の稲穂にすずめ群がりて賑わいくれる朝のひととき

（西）松浦 妙子

桂木ひふみ会（北）
スマホ持ち指一本で生きたる 荒木 宗久

0か1その間こそアナログぞ 上原みなみ

デジタルの風にさらされ偏頭痛 京念久美子

（西）秋山シズエ
若者の居場所づくり知恵を出し練り直しつつ笑顔です

（西）瀬尾省二郎

古枯や峽に半生住み古るも 井関 礼子

ひまわり句会（北）
実南天庭の片隅真っ赤なり 辻 寿賀子

年明けて今年も咲いたスイセン花 石井 敏子

（ひより台句会）（北）
病の父思ふ息子と祝ひよどり台句会（北）

蠟梅の花びら透けて空青し 田中 弘子

一輪の水仙がある良き日和 筒井 豊子

染まりゆく朝雲を見つ四方拜 中井 光子

感謝してひとつ願ぎ事初詣 矢谷登美子

（北斗句会）（北）
姿見を何度も覗く春着の子 岸下 庄二

裾に手を渡舟乗り込む春着の子 秋山 弘之

いそいそとめかし八十路の春小袖 黒田 久江

入院の夕膳早く降誕祭 金行 隆

昨夜に染む髷梳上げて初鏡 増田 嗣夫

初場所や轟負の力士の幟立つ 藤井久美子

春着の娘指先までがしほらしく 松本 洋子

寄せ植えの鉢は古伊万里福寿草 脇坂有多子

産土の宮に春着の姉いもと 久松 礼子

（落葉踏む私の音を聞きながら 北条 幸夫

福寿草句会（須）
混濁の世に肅然と山眠る 松下修二郎

（デパ地下の活気戻りて 師走かな 上原 綾子

冬木立続く果てなる大入り 岩田美代子

須磨浦の日の出眼下に山眠る 林 慎一

（姜酒 藤田 栄一

心急ぐクリスマススの歌街の中 高見希豫子

（多聞台ときわ会文芸部）（垂）
ころころに着ぶくれすれど倅む手 大畑留理子

（山眠る 林 慎一

（姜酒 藤田 栄一

（心急ぐクリスマススの歌街の中 高見希豫子

（多聞台ときわ会文芸部）（垂）
ころころに着ぶくれすれど倅む手 大畑留理子

（山眠る 林 慎一

（姜酒 藤田 栄一

（心急ぐクリスマススの歌街の中 高見希豫子

（多聞台ときわ会文芸部）（垂）
ころころに着ぶくれすれど倅む手 大畑留理子

（山眠る 林 慎一

（姜酒 藤田 栄一

（心急ぐクリスマススの歌街の中 高見希豫子

（多聞台ときわ会文芸部）（垂）
ころころに着ぶくれすれど倅む手 大畑留理子

（山眠る 林 慎一

（姜酒 藤田 栄一

（心急ぐクリスマススの歌街の中 高見希豫子

知る人もなき一人住まいの厚着かな

（中）村佳代子
マフラーの色鮮かにマスキ消し 久下 順司

片方の手袋いずこ迷い道 樋山 隆夫

捨てられぬ手あみのマフラー箱の奥 山本雄二郎

（着ぶくれの案山子ポツンと休耕田 木村 敏博

（桃山台クラブ文芸部）（垂）
蟹鍋や殻山盛に足の殻 田畑美恵子

（初春の天泳ぐたこ友は無く 大上 昭敏

（きらく句会）（西）
初日の出道なき人生衿正す 大橋 治子

（床の間に孫と曾孫と鏡餅 喜田 弘征

（年初め泣き笑いする誕生会 阪本 道子

（救出に向かう背なに輪かんじき 田野 湯仙

（生返事聞きつ返しつつ着膨れる 森本 珠実

へなぶり

六十年この人がいい来世も （東）増田 芳之

忘れちゃう目の前に在る飲心薬 （北）かんいち

（身心が熱く燃えます小豆粥 （北）北野 利一

（引きこもりねそびり族と言わらしい

（北）宮内美栄子
お年玉今も変らぬボチ袋 （北）竜太

（新年の抱負邪魔するオミクロン（長）藤原 道彌

（俺の人生誰が知ってるレンズだけ

（日本一開幕前のトラ吠える （西）萩原 浩一

（サークルの再開拒むオミクロン（西）松井 文子

あとがき

コロナはもう終わったのでしょうか。新聞やテレビでは天文学的な数字で発症者数が増加しています。なのに街には人があふれ、マスクなしの人も見かけます。このさき、どうなるのでしょうか。

広報紙発行回数変更に伴い
投稿募集期間が変更になります

締切は発行月の前々月15日必着です。
投稿募集期間は下記の通りです。

掲載月	投稿募集期間
1月号	→ 9月16日～11月15日
3月号	→ 11月16日～1月15日
5月号	→ 1月16日～3月15日
7月号	→ 3月16日～5月15日
9月号	→ 5月16日～7月15日
11月号	→ 7月16日～9月15日

たくさんのご投稿をおまちしております。

とっておきの作品



〔兵庫区〕
御崎南ビルほのぼの倶楽部

衣川 晴子

寒の雨細ぼそ降りて身にしみる 山本スミ子
月が丘むつみ会（西）
初春の歌会老人若返り 藤森 勝子
（雪 川上 富範

（今日 武井 勇二
寒くてや家の中に籠り勝ち （東）武田 勝子
大雪や脳裡の眼六甲山 （灘）福井 悦子
初午のご縁日の土人形 （灘）安田奈美江
聞いたふり聞えぬふりの冬帽子 （灘）山上 幸子

悠々と鳶の輪を描く初御空 （中）延吉 富子
新春の生田の森や太鼓の音 （北）竹村 良子
（初日出大阪湾を一番機寒見舞ひ今年も書きて落着けり （須）福本 和恵

（里山にひびく鐘の音年明けぬ （垂）藤田 恵子
春近し水溜まりより光苔 （西）小幡美沙子
（秋ふかし （西）古西 研次
（西）芝田 律子

火災共済

「建物のみ」「家財のみ」でも
ご契約いただけます。

- 補償内容 ★掛金のお支払いは年払い、月払いをお選びいただけます。
- ① 火災
 - ② 落雷
 - ③ 自動車等の飛び込み
 - ④ 水濡れ
- ⑤破裂・爆発 ⑥航空機の墜落 ⑦臨時費用 ⑧残存物取り片付け費用
⑨失火見舞費用 ⑩修理費用 ⑪漏水見舞費用

今なら「住宅用火災警報器付火災共済」にご加入いただきましたら火災警報器の取付工事費は無料となります！

さらに

「住宅用火災警報器付火災共済」および「火災共済」のいずれかに新規加入の場合「住宅防火診断」を無料で実施いたします！

（兵庫県知事認可）
暮らしの安全と安心を見守る青い鳥
0120-81-9431
神戸市中央区伊藤町111番地 神戸商工中金ビル3階
（営業時間9:00～17:30 土・日曜日及び祝日休業）
ホームページ
https://www.kccs.or.jp/
検索ワード 神戸市民生協

老人クラブ会員様

おひとり様の安心
老後対策

身元引受保証・任意後見
葬式等 死後事務・税務

社会福祉士・僧侶・税理士・司法書士・弁護士・行政書士等
による 無料個別相談!! 秘密厳守

神戸駅前合同事務所工一ル | 甲南スカイビル9F ★ J R 神戸駅 山側徒歩2分
予約電話： 078-371-2611
事務局長 ヤナギヤスオまで

